

令和4年度鶴見区区政会議 第1回防災・防犯部会 会議要旨

1 日時 令和4年8月30日(火) 午後7時00分から午後8時34分

2 場所 鶴見区役所 3階 302会議室

3 出席者

(委員)

島崎部会長、鎮西(章)副部会長、小倉委員、黒澤委員、坂本委員、西山委員、保田委員
(鶴見区役所)

内田区長、貴田政策推進担当課長、中村市民協働課長、
木村総務課政策推進担当課長代理兼市民協働課長代理、大川市民協働課長代理、
更家市民協働課担当係長、土井市民協働課担当係長

4 議題

- (1) 令和4年度鶴見区区政会議の進め方について
- (2) 令和3年度鶴見区運営方針自己評価・令和5年度取組みの方向性について
- (3) 鶴見区将来ビジョンの方向性について

5 議事要旨

- (1) 令和4年度鶴見区区政会議の進め方について

事務局から、「令和4年度鶴見区区政会議スケジュール(案)」(資料1)に関する説明を行い、案のとおり了承された。

- (2) 令和3年度鶴見区運営方針自己評価・令和5年度取組みの方向性について

事務局から、「令和3年度運営方針自己評価・令和5年度取組みの方向性について」(資料2)に関する説明を行い、委員からの意見等及び事務局からの回答の概要は次のとおり。

- ・ 防災意識向上に係る出前講座、また避難所開設運営訓練における一般市民の方の参加状況はどのようなものか。
⇒ 一般市民の方の参加者数については、コロナウイルス感染症が蔓延する前に比べ減少している。
- ・ 直近の3~4年間、一般市民の方も参加する防災訓練を実施できていないことは問題であり、取組みを推進していくべきである。
- ・ 12 ページ目の指標では、「いざという時に備えて、個人(家庭)での備蓄や家具の転倒防止等の防災対策をしていると回答する区民の割合」とあるが、アンケートではどのように集計しているのか。
⇒ アンケートの設問をいくつか設定しており、なにかしらの防災対策をしている回答を実績値とし

で計上し、「無回答」や「何もしていない」などの回答は控除している。

- ・ 災害時においては、建物の耐震対策と非常食の備蓄の2つは必須と思われるが、現行の指標は適切か。
- ⇒ なにかしらの防災対策をしている回答を実績値としていたが、ご指摘のとおりであることから、改めて指標の妥当性を検討する。
- ・ 防災意識の向上に係るホームページでの情報発信について、閲覧者数の増加を企図したうえで、取組みを進めるべきである。
- ⇒ ホームページのアクセス数を意識しつつ、広報紙との連携を図りながら情報発信に努めてまいりたい。
- ・ 今後はコロナ対策ではなく、ウィズコロナの視点で取組みを進めていく必要がある。
- ・ 災害に強いまちづくりの項目では、自助、共助、公助に区分されているが、防災対策予算における構成比はどの程度か。
- ⇒ 予算額の概算としては、自助が 50 万円、共助が 390 万円、公助が 540 万円となっている。
- ・ 自転車の盗難件数が減少したとのことだが、他区や大阪市全体と比べ、鶴見区として特徴的なものはあるのか。
- ⇒ 鶴見区の街頭犯罪発生件数のうち、自転車盗難が最も多いことは把握しているが、他区等との比較といった分析は行っていない。
- ・ 各地域における防災に係る取組みは多種多様であることから、部会(勉強会)等の場を活用して、他地域の情報を共有することは有用である。

(3) 鶴見区将来ビジョンの方向性について

事務局から、「鶴見区将来ビジョンの方向性について」(資料3)に関する説明を行い、委員からの意見等及び事務局からの回答の概要は次のとおり。

- ・ 区民アンケートの対象者数や回答者数といった調査概要はどのようなものか。
- ⇒ 対象者は鶴見区住民基本台帳に登録されている方のうち、1,000 名を無作為抽出したうえで、アンケート用紙を郵送し、回答者は約半数である。このアンケート調査を1年間に2回実施している。
- ・ 区役所が実施する事業について、SDGsの推進を踏まえ、今後は環境に重視した取組みに変えていくのか。
- ⇒ 区役所が実施している多くの既存事業については、すでに何らかの形で SDGsに関連していることから、特段変更することは考えていない。
- ・ 区役所における SDGs推進に係る取組みが、各地域や団体の活動に影響はあるのか。
- ⇒ 区役所の既存事業と同様に、各地域や団体が実施している各種取組みについても、何らかの形で SDGsに関わっていることから、特段の影響はない。区役所としては、同取組みが SDGsに関わっているということを周知することが重要であると考えている。
- ・ 27 ページ目では、「あらゆる世代に情報発信を行う」との趣旨の記載があるが、これは世代別に情報発信の方法を検討することか。

- ⇒ 子育て世代であれば、スマートフォンやSNS、高齢者の方に対しては紙媒体を多用するなど、ターゲット層の特性に応じた情報発信を行う必要があると考えている。
- ・ 鶴見区のホームページでは、調べたい項目にたどり着くことが困難であり、改善が必要である。またリンク切れのコンテンツも見受けられる。
- ⇒ 大阪市のホームページの構成上、制約があるものの、長期的な視点で改善に努めるとともに、リンク切れのコンテンツについては、定期的を確認しているものの、今後は確認頻度を高めたいうで対応してまいりたい。
- ・ 人事異動により担当者が変わることはやむを得ないが、当該職員が有している防災に係るアイデア等も含め、事務の引継ぎが十分ではないことは残念である。
- ・ 区政会議での委員からの意見に対して、区役所として検討するとの回答をしたにもかかわらず、検討結果を明らかにしないまま立ち消えになった項目もあることから、申し送り事項として対応いただきたい。また、委員が代わった後には、過去にあった同種の質問等が出ることもあり、会議時間の短縮や継続性の観点から工夫が必要ではないか。
- ⇒ 検討すると回答した項目については、概ね1年単位で進捗状況などをご報告させていただいているが、円滑な会議の運営にあたって工夫が必要であることから、対応を検討してまいりたい。
- ・ 小学校にはスポットクーラーが1台設置されているが、避難所開設に際しては、1台では不十分ではないか。また各校へのクーラー設置に係る進捗状況はどのようになっているのか。
- ⇒ 別途確認させていただく。
- ・ 小学校の備蓄倉庫は容量が大きくないため、これ以上資材などを保管することはできないのではないか。
- ⇒ 別途確認させていただく。

6 会議資料

- (1) 次第
- (2) 令和4年度鶴見区区政会議スケジュール(案)(資料1)
- (3) 令和3年度運営方針自己評価・令和5年度取組みの方向性について(資料2)
- (4) 鶴見区将来ビジョンの方向性について(資料3)
- (5) 令和3年度鶴見区運営方針